



編集室



お盆に纏めて休みをもらって、終活の引越えしを行った。見積もりに来た営業マンが、報告

して即ぐに上司から返信が来た。「3DKで、なんで12屯もあるんや?」。改めて、ごみの山をカメラに収めて送信したら、ナットクしたらしい。荷造りも二人の女性が、手際良く段ボールに詰めていく。

2日掛りで2屯車2台で4往復して、運んでもらった。どの部屋も段ボールの山で、少しづつスペースを広げて、生活している。

今回の引越えで、構想を練っていた通りに家具を配置してもらった。頑張って整理しようと思うものの、全身の筋肉痛に、膝・腰・背骨が悲鳴をあげるガタついた老体は、いう事に応えられない……。

今年また原爆の日や父想う

(高)



菖蒲で有名な城北公園から、淀川の少し上流に城東貨物線の淀川橋梁がある。半世紀以上前、通称18番鉄橋と呼ばれたその下に

は、ヌシと呼ばれるとてつもなく大きな鯉がいると旭区在住の小学生達に、まことしやかに語られていた。鉄橋下には爆弾池(戦争の痕跡が残っていた)と呼ばれるワンドがいくつもあり、ヌシを捕まえヒーローにならんと意気揚々と友人達と何度も繰り出した。が、めぐりあえないまま。お盆に旧友が集まった酒席の取りとめない話に、遠い夏の記憶が蘇った。

(隆)



先日テレビで、「お盆玉」という言葉を初めて聞いた。調べてみると、8年前に造られた造語で、江戸時代に東北地方でお盆休みの奉公人に雇い主が「お盆お小遣い」として渡していたものが発端らしい。お盆の時期に帰省した子供や孫に祖父母から渡したり、逆に祖父母などに対して渡すこともあるらしいが、我が家の反応は、「名前は知らんけど、昔からやっていることやん。命名することで商売の匂いがプンプンする」と、いささか不評であった。

(正)